別紙

【切手デザイン】

常陸國最古霊山
御岩神社
浄らかな山
かびれの高峰に
天つ神鎮まる
常陸國風土記
七二一年
御由緒
www.oiwajinja.jp
老樹巨木が鬱蒼と茂る御岩神社の神域は、721年に成立した「常陸國風土記」に「かびれの高峰(御岩山古称)に天つ神鎮まる」と記され、また、縄文晩期の祭祀遺跡が発掘されるなど古代より信仰の聖地でありました。
中世には山岳信仰とともに神仏混淆の霊場となり、江戸時代に至っては水戸藩初代徳川頼房公により、出羽三山を勧請し水戸藩の国峰と位置づけ、徳川光圀公を初め藩主代々参拝を常例とする祈願所でありました。
明治維新により神仏分離令が実行され、境内21社の神社、寺院を整理統合しましたが、仏像の現存、境内遺跡、祭事形式など古代信仰、神仏混淆が色濃く残り、「常陸國最古霊山　神仏を祀る社」として今日でも他に見られない独自の信仰を伝えております。
御岩神社
御岩神社
NIPPON 52
御岩神社
御神木三本杉
NIPPON 52
御岩神社
大日如来像
NIPPON 52
御岩神社
御岩山御来光
NIPPON 52
御岩神社
かびれ神宮
NIPPON 52
御岩神社
薩都神社中宮
NIPPON 82
御岩神社
楼門(大仁王門)
NIPPON 82
御岩神社
金剛力士像
NIPPON 82
御岩神社
御岩山霊場図
NIPPON 82
御岩神社
斎神社回向殿
NIPPON 82
○ 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
○ 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。